

1 単元名 あきとなかよし

2 単元目標

秋の校庭や遊び場などで散歩したり遊んだりする活動を通して、季節が秋に変化したことに気付くとともに、木の葉や木の実などの自然物を使ってみんなで工夫して生活に役立つものを作ったり、遊びに使うものを作ったりして、楽しむことができる。

3 評価規準

知識及び技能等	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
春や夏の自然との様子の違い、秋の特徴に気付くとともに、季節によって生活の様子が変わることやその面白さ、自然の不思議さに気付いている。	身近な自然や自分の生活、地域の行事から秋の特徴を見つけ、それらを表現したり、身近な秋の自然を利用して工夫して遊びや遊びに使うものを作ったりしている。	季節の変化に関心をもち、それらを取り入れて自分の生活を楽しくしようとしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりしている。
<p>①夏から秋へ自然の様子が変化していることに気付いている。</p> <p>②公園や校庭の植物や生き物の様子が変化していることから、季節が変わったことや自然の不思議さや面白さに気付いている。</p> <p>③友達と伝え合うことを通して、秋らしさや自然の変化に気付いている。</p> <p>④みんなが楽しく遊べるように、遊び方やルールを工夫することや、分かりやすく伝えるために工夫が必要であることに気付いている。</p> <p>⑤秋を楽しむことを通して、秋の自然物の不思議さや面白さ</p>	<p>①身の回りで感じられる季節の様子や変化について考えたり、予想したりして、それらを探す計画を立てている。</p> <p>②諸感覚を使って自然を観察したり、関わったりすることを通して、季節の変化を感じ、表現している。</p> <p>③木の実や落ち葉などをじっくり観察したり、比べたりして、秋の特徴を捉えたり、秋らしさを考えたりしている。</p> <p>④木の実や落ち葉などをじっくり観察したり、比べたりして、それらを利用した遊びを考えている。</p> <p>⑤比べたり、試したり、見立てたりしながら、秋の自然物を使</p>	<p>①身の回りに感じられる季節の様子や変化に関心をもち、それらを見つけようとしている。</p> <p>②秋の植物や生き物関心をもち、変化を探そうとしている。</p> <p>③季節による変化や季節の特徴について発見したことや感じたことを友達に伝えようとしている。</p> <p>④友達のよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。</p> <p>⑤秋祭りを開くために必要な役割を話し合ったり、準備をしたりして、みんなと協力し</p>

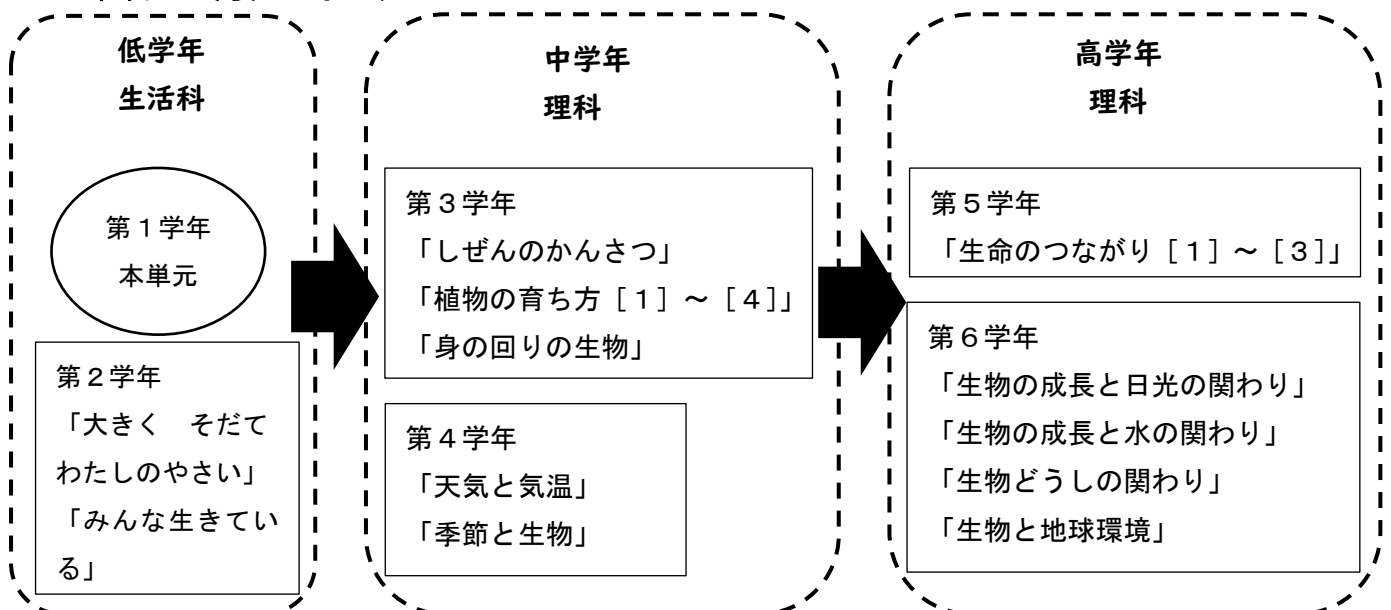
<p>に気付いている。</p> <p>⑥単元の振り返りを通して、自分の頑張りや友達の頑張りに気付いている。</p>	<p>って遊ぶものや生活に役立つものを工夫して作っている。</p> <p>⑥伝えたいことを分かりやすく伝えたり、みんなが楽しく遊べるようにルールや約束を工夫したりしている</p>	<p>て秋を楽しもうとしている。</p>
---	---	----------------------

4 単元について

本単元は、学習指導要領生活編の内容（５）「季節の変化と生活」及び（６）「自然や物を使った遊び」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、校庭や、平和の森公園への「どんぐり遠足」での秋探しなどを通して、児童は繰り返し自然と触れ合う。秋の校庭や遊び場などで散歩したり遊んだりする活動を通して、自分なりの思いや考えをもち、季節が秋に変化したことに気付くとともに、自分たちの生活を工夫したり、楽しくしたりできるようにすることを目標としている。色付く木の葉やどんぐりの実などの身近な秋の自然物から色味・形状などの特徴を見付け、それらを表現したり、遊びや遊びに使うものを作ったりする。単元の最後には制作物を利用して「ドングリわくわくひろば」を行う。「ドングリわくわくひろば」では、児童が遊びを計画し、準備を行う。その際、遊びに必要な役割を友達と話し合ったり、遊びのルールを決めて楽しく活動したりする方法を学ぶことも本単元の目標としている。

5 本単元の今後のつながり



6 児童の実態

児童は、様々なことに興味をもって学習に取り組んだり、休み時間には、校庭で友達と元気に遊んだりして楽しく過ごしている。1学期の学習「なつとなかよし」では、4月から育てているアサガオの花で色水を作り、自然を使つての遊び方を学んだ。2学期の学習、「げんきにそだてわたしのはな」では、アサガオやふうせんかずらの種を収穫したり、蔓を用いてリース作ったり、季節の変化に気付いている。その時々の変化を楽しみ、感じたことを広げている。また、1学期の学習、「いくぞ！がっこうたんけん」では、学校探検で見つけたワクワクを基にクイズを考えた。クイズ屋さんを開き、同学年や他学年の児童を招待し、自分が作成したクイズを積極的に発表して交流する経験をした。これらの学習を踏まえて、本単元「あきとなかよし」では、秋の自然とすすんで関わり、春や夏の自然との様子の違いや秋の特徴に気づき、四季の変化を見付けることができるようにする。秋の自然を利用して工夫した遊びや遊びに使うものを作る活動を友達と交流する中で、様々な工夫の仕方など多面的に考える力の素地を身に付けさせる。

7 研究主題に迫るための指導の手立て

(1) ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

① 多面的・総合的に考える力

第1学年では、多面的・総合的に考える力の素地を次のように捉えることとした。

一つめは、身近なことに興味・関心を持ち、すすんで関わろうとする態度である。多面的・総合的に考えるためには、事物や事象に対して感じたり気付いたりすること、自分の思いや願いをもつことが大切だと考えたからである。本単元では、季節の変化を感じ取ったり自然物を使った遊びを創造したりすることに、楽しさや喜びを見だし、すすんで活動する姿をめざしている。

二つめは、自分や友達のよさに気付くことである。友達の思いや願い、活動に共感し、多様性を認める経験の積み重ねが、多面的・総合的に考える力につながると考えた。一つめに挙げたように、自分の思いや願いをもつことを大切にしているので、友達のよさだけでなく、自分のよさにも気付くことができるようにする。本単元では、前半は、秋の自然物を生かした様々な活動を一人一人が創造し、後半は、個々の活動をもとに小グループでの活動を取り入れ、自他のよさへの気づきをめざしている。

② 進んで参加する態度

生活科では、上述しているように、自分の思いや願いを基にした活動を積み重ねている。身近な社会、自然、人とすすんで関わり、交流の楽しさを味わい、自分の役割に気付いて協力できる児童を育てていく。

(2) 研究主題に迫るための指導の手だて

① 「視点」あるいは「見方」を増やす

ア 繰り返しの活動

アサガオの観察や校庭での秋探し、生き物探し、2年生とのどんぐり遠足など、季節の移り変わりや秋の特徴に様々な視点から気付かせていく。また、秋の自然物を活用した制作活動では、制作と遊び(紹介)を繰り返すことで、工夫や改善に取り組ませる。

イ 学習の見通しをもつ

1学期の学校探検や2年生のどんぐりパーティーでの経験を基に、大まかな活動の見通しをもたせる。単元の前半は個々の活動、後半は学級や学年での活動と設定しておくことで、自身の活動の発展を予測し、活動への意欲をもち続けることができるようにする。

ウ 秋の遊びコーナーの設置

秋の自然物や図書資料、身近な材料を児童と共に集め、すぐに手に取ることができるようにすることで、活動への期待や見通しをもつようにする。

② まとめによって全体をみる

ア 児童の思いや願いを基にした活動計画

一人一人の思いや願いを引き出し、全員が納得する活動計画を話し合いで組み立てる。

イ 活動の価値づけ「いいね！」

見付けたことや気付いたことを全体で共有する。また、拙くても、表現したことを認め、多様性を受け止め、それを全体の価値として広めていく。

ウ 活動の振り返りと次時の見通しの時間

学習活動の途中や終末などに、自身の活動のよさや次時の計画をカードに記入、記述をする。単元の終末にカードを読み返すことで、単元全体の振り返りに生かす。

8 単元の指導計画と評価計画（全15時間）

次	時	目標	主な学習活動	評価基準
1	1	2年生からの誘いを受けて、平和の森公園へ秋探しに出かける計画を立てる。	① 平和の森公園での秋探しの持ち物や約束、活動内容を確認する。	◇身の回りで感じられる季節の様子や変化について考えたり、予想したりして、それらを探す計画を立てている。 【思・判・表—①】
	2 3	春や夏と比べながら、公園や野原などの遊び場の変化を、諸感覚を使って感じ取るとともに、見付けた秋の自然物に興味・関心をもつことができるようにする。	① 平和の森公園へ出かけ、秋探しをする。 ② 春の遠足の時と比べ、平和の森公園の変化について見付けたことを知らせ合う。	◇身の回りに感じられる季節の様子や変化に関心をもち、それらを見つけようとしている。 【主体—①】 ◇夏から秋へ自然の様子が変化していることに気付いている。 【知・技—①】
	4 5	平和の森公園で見つけた物や育てているアサガオや校庭の植物の様子、生き物探しなどを	① アサガオの種取りや観察で気付いたことをカードに絵や言葉で表現する。 ② 平和の森公園で見つけた物を紹介し合う。	◇公園や校庭の植物や生き物の様子の変化していることから、季節が変わったことや自然の不思議さや面白さに気付いている。 【知・技—②】 ◇諸感覚を使って自然を観察したり、

		通して、季節の変化を感じ取ることができるようにする。	③ 校庭で秋探しをし、見つけたことや気付いたことを知らせ合う。	関わったりすることを通して、季節の変化を感じ、表現している。 【思・判・表―②】 ◇秋の植物や生き物関心をもち、変化を探そうとしている。 【主体―②】
	時間外	2年生に秋遊びを紹介してもらい、今後の活動への期待をもつ。		
2	6	集めた秋の自然物をじっくり観察して、形状から気付いたことを伝え合い、それを生かして遊ぶものや飾るものを制作する計画を立てることができるようにする。	① 秋探しで見つけた葉や木の実をじっくり見て、季節の変化や遊びを思い出す。 ② 見つけたこと感じたことを友達と知らせ合う。 ③ 秋探しでの発見を伝える方法を話し合い、今後の活動の見通しをもつ。	◇友達と伝え合うことを通して、秋らしさや自然の変化に気付いている。 【知・技―③】 ◇季節による変化や季節の特徴について発見したことや感じたことを友達に伝えようとしている。 【主体―③】 ◇木の実や落ち葉などをじっくり観察したり、比べたりして、秋の特徴を捉えたり、秋らしさを考えたりしている。 【思・判・表―③】
	7	2年生の開催した秋パーティーや図書資料を基に、制作活動の計画を立てることができるようにする。	① 集めた落ち葉や木の実を使った作品やおもちゃ作りの計画を立てる。 ② 必要な道具や材料を確かめる。	◇木の実や落ち葉などをじっくり観察したり、比べたりして、それらを利用した遊びを考えている。 【思・判・表―④】
	8 9 10	秋の自然物や身近にある材料を利用して、遊ぶものや飾るもの、生活に役立つものなどを制作し、楽しく遊ぶことができるようにする。	① 作りたいものを作ったり、自然物について表現したりする。 ② 作ったものを紹介し合い、改良しながら遊ぶ。	◇みんなが楽しく遊べるように、遊び方やルールを工夫することや、分かりやすく伝えるために工夫が必要であることに気付いている。 【知・技―④】 ◇比べたり、試したり、見立てたりしながら、秋の自然物を使って遊ぶものや生活に役立つものを工夫して作っている。 【思・判・表―⑤】 ◇友達のよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。 【主体―④】

3	11 12	作ったもので遊んだり、発見したことや生活に役立つものの作り方を紹介したりして、みんなで秋を楽しむ計画を立てることができるようにする。	① 前時までの遊びを振り返り、1年生の秋祭り（仮称）につなげる準備をする。	◇秋祭りを開くために必要な役割を話し合ったり、準備をしたりして、みんなと協力して秋を楽しもうとしている。 【主体－⑤】
	13 14 (本時)	秋を楽しみ、遊びを豊かにすることを伝えるために、自分の役割に気付いて活動に参加できるようにする。	① これまでに制作した作品を使って1年生の秋祭り（仮称）を開く。	◇秋を楽しむことを通して、秋の自然物の不思議さや面白さに気付いている。 【知・技－⑤】 ◇伝えたいことを分かりやすく伝えたり、みんなが楽しく遊べるようにルールや約束を工夫したりしている。 【思・判・表－⑥】
	15	1年生の秋祭り（仮称）を開催して気付いたことや感じたことを共有して、次の活動への期待をもつことができるようにする。	① 活動を振り返り、後片付けをする。 ② 今後の活動について考えを伝え合う。	◇単元の振り返りを通して、自分の頑張りや友達の頑張りに気付いている。 【知・技－⑥】
	時間外	休み時間等を利用した他学年の児童との交流や制作物の展示を通して、豊かな秋の遊びを伝えることができるようにする。		

9 本時（14/15時間）

（1）目標

自分の役割に合わせて、ルールや約束を工夫し、楽しく活動することができる。

（2）展開

	○学習内容 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ■評価規準(評価方法)
導入 5分	○本時のめあてを知る。	◇グループ活動が十分にできる広さを確保するとともに、危険物を除外する等、安全に配慮した環境を整える。

どんぐりわくわくひろばをみんなでのしもう。

	○活動の進め方を知る。	◇見通しをもち活動を行うために、活動時間を提示する。
展開 25分	○「ドングリわくわくひろば」を行う。 (後半の人：20分) 遊ぶ人、お店番の人とグループに分かれて活動する。 ・ドングリレースは、ドングリを最後まで運ぶのが難しいから、ルールを変えよう。 ・ドングリウサギがかわいいから、自分でも作ってみたい。 ・紙コップの中で5点、ペットボトルキャップの中で10点。3回まで挑戦できます。みんな楽しく遊ぶために、点数表を作ろうかな。	◇グループを回り、個々の活動のよさを伝えたり、個別に支援したりして、全員が楽しむことができるようにする。 ◇お店番の人と遊ぶ人を分かりやすくするために、赤白帽を被らせる。 ◇お店番の人は、遊び方を伝え、楽しく遊んでもらうように働き掛ける。 ◇いいね！見つけをしようとする言葉掛けをすることで、遊びの工夫や制作物の良さに気づき、伝えることを共感できるようにする。 ◇更なる活動につなげられるような、言葉掛けをする。 ■伝えたいことを分かりやすく伝えたり、みんなが楽しく遊べるようにルールや約束を工夫したりしている。【思・判・表-⑤】
まとめ 15分	○本時の学習について振り返りを書く。 ・ウサギ人形は、全部どんぐりで作られていて、かわいかった。 ・けん玉は、何秒間に何回乗せられるかを数えるのが、面白かった。 ・あたらしいルールを作った。	◇友達の考えを聞き、共感や付け足しなど自分の考えをハンドサインで知らせる。 ◇遊んだとき・お店番をしたときに分けて振り返りをする。 ◇次時への意欲を喚起する。

(3) 板書計画

あきとなかよし	○おみせやさん ・いらっしゃいませ ありがとう ・あそびかた	・せつめいはむずかしいけど、たのしかった。がんばった。 ・あたらしいルールもできた。
おみせ 2じまで ふりかえり	○おきやくさん ・こんにちは ありがとう ・よくきく ・いいね！	・いろいろなあそびでたのしめた。 ・うさぎにんぎょうは、ぜんぶどんぐりでつくられていてかわいかった。 ・じかんをきめたからおもしろかった。

(4) 場の設定

